



自分専用の一輪車と自転車！

校長 石踊 晴元

1学期も2か月過ぎようとしています。子供たちは毎日元気よく登校しています。朝、駐在所前に立っていると、7時20分頃から登校して来る子供たちの顔が見えてきます。校長住宅前に来ると帽子を取り、「校長先生、おはようございます。」と元気のよい挨拶をしてくれます。私も負けずに挨拶を返しています。1年生も近所の友達やお姉さんと一緒に笑顔で登校しています。そして7時45分頃には全員の登校が終わります。「子供たちの朝の挨拶」と「欠席児童0人」が私の元気の源です。私が校長室に帰る頃、体育服に着替えた子供たちが校庭に姿を現し、体力作りを始めます。校庭を走ったり、遊具施設で遊んだりした後に、もう一つ活動をしていきます。それは、一輪車の練習です。今年から自分専用の一輪車を持つことにしたからです。愛用の一輪車で、好きな時に好きなだけ練習ができるので上達も早いです。

また、昼休みの遊びにも変化が見られます。それは自転車遊びです。本校は、数年前まで自転車競技大会に出場していた実績があり、大会出場用の自転車が学校に保管されていたので、その自転車も全員に1台ずつ割り振りました。特に3・4年生がヘルメットを着用し、フェンス沿いをサイクリングしています。

個人専用の一輪車や自転車を持たせることで、取り合い等のトラブルや置きっ放し等がなくなり、大切に扱うようになりました。また、一輪車や自転車置き場、自転車に名前シールを貼っているの、子供の視点からも片付けられているか確認できます。おかげでいつもきちんと片付けられています。これらの経験を生かし、自分の物は自分で責任をもち大切に扱う等、管理ができる人間に育ててほしいと願っています。



危機管理ができる子供に！

学校では、これまでに交通安全教室、風水害避難訓練、不審者対応避難訓練を実施しました。2学期には地震・火災避難訓練が予定されています。これらの行事は命を守るための大切な学習です。「万が一」に備え、毎年実施しています。

特に、不審者対応避難訓練は、他の避難訓練と比べ、難しさを感じます。風水害、火災・地震の場合は、相手が自然等なので、これまでの学習経験を生かし、考えて行動すれば安全に対応できるのですが、不審者対応の場合、相手が人間で至近距離に来た場合、冷静に対応できなくなり、危害を加えられる可能性もあります。

今回の不審者対応避難訓練では、来校した不審者と職員が対応し児童を避難させる訓練、登下校中に不審者に声をかけられた時の訓練、遊んでいるとき不審者に声をかけられた訓練、出かけた先で親と離れた場所で声をかけられた訓練を行いました。職員も子供たちも、これまでの経験を生かし、対応することができました。外出時は防犯ブザーを必ず所持する等、子供たち自身で危機管理ができるようになってほしいと願っています。

また、これから梅雨に入ります。地盤の緩みや河川の増水等が予想されます。崖や側溝近くを通る場合は、特に気を付けてほしいと思います。異常を感じたら保護者や学校に伝えるよう、お子さんにもお話しください。

